

ヘレンベルグ： 街の紹介

郡庁所在地ヘレンベルグは、黒い森と州都シュツツガルトの間に位置する、（‘ゴイ’ と呼ばれる） 森と水の多い地方の中心的な街です。この人口 3 万人の街は、四方八方に広がるインフラストラクチャーのおかげで、非常にアクセスしやすい街です。観光者がどの方角から訪れても、シュロスベルグ（城山）とその下に見える巨大な教会が迎えてくれます。この教会は、玉ねぎ型の教会塔とともに、紛れもなく、街の象徴として知られています。

ヘレンベルグはバデン・ブルテンブルグ州の中でも、極めて美しい木骨造り家屋が多く残っていることでも有名です。噴水のあるマルクト広場、市役所建造物、数々の木骨造り家屋、そして数知れない噴水——これらは、街の豊かな、かつ波瀾に富んだ過去を物語っている証しでしょう。近年になって、旧市街（アルトシュタット）は、文化財保護地域として指定されています。ほぼ完全な形で保存された歴史建造物の数々は、狭い小道や細長い街路とともに町の中世的な雰囲気醸し出しています。

街の中心部では、歩行者天国道が広がり、ブラブラと歩きながらショッピングが楽しめます。また、マルクト広場では数年前から車の通行が禁止されています。グルメな人達にとってもヘレンベルグは絶好の場所と言えるでしょう。シュヴァーベン料理以外にも多国籍料理が食べられるレストランが多数充実しています。散歩していると町の至る所で見かける、カフェやビアガーデンにふらっと立ち寄られるのもいかかでしょうか。

「体験」「ショッピング」「飲む・食べる」——どれを選んでもヘレンベルグを訪れてがっかりさせられることはありません。

ヘレンベルグの魅惑は、単に歴史情緒の漂うアルトシュタット（旧市街）や、悠々とそびえ立つ教会だけではありません。ヘレンベルグを取り巻く環境は豊かな自然であふれています。街のすぐ裏には、バデン・ブルテンブルグ州では最も古い自然公園、シヨーンブッフがあります。また、近郊には‘黒い森’、シュヴェービッシュアルプ、ボーデン湖などもあり、余暇を楽しむには絶好のロケーションと言えるでしょう。